

徳島市立図書館資料選定収集方針

1 基本方針

図書館資料収集にあたっては、徳島市の持つ地域的特性を考慮し、かつ市民の多様な要求にこたえるため、文化、教養、調査研究、趣味、娯楽等に資する資料を幅広く収集する。

選定収集にあたっては「図書館の自由に関する宣言」の次の立場を尊重する。

ア 多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。

イ 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。

ウ 図書館員の個人的な関心や好みによって選択しない。

エ 個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、糾弾をおそれて自己規制をしたりしない。

オ 寄贈資料の受入れにあたっても同様である。

カ 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようとも、それを図書館及び図書館員が支持することを意味するものではない。

図書館の機能の役割を認識し、本館、自動車図書館の立場から効率のよい選定を行う。

資料の種類は図書形態の資料はもとより、新聞、雑誌、パンフレット及び視聴覚資料等の収集に努める。

資料収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つよう配慮する。

2 資料選定の心得

出版情報について絶えず目を配ること。

担当する資料の情報を把握すること。

図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

現有する図書館資料について十分把握すること。

3 一般方針

共通の基準

全分野にわたり基礎的、入門的なものから専門的なものにいたるまで幅広く収集する。ただし、次のものは選定しない。

ア 人権またはプライバシーを侵害するもの

イ 学習参考書・入試問題集・各種問題集類

ウ 高度な専門書

参考図書

全分野にわたり学術的、社会的に価値のある参考図書（事典、辞典、年鑑、便覧、人名録、書誌索引、統計、地図等）をできるだけ収集する。

郷土資料

郷土資料については、次の資料を収集する。

ア 徳島について書かれたもの

イ 郷土出身者・郷土在住者・郷土在職者の著作物

(ア) 内容が徳島に関するもの

(イ) 出身者、在職者であっても、徳島に関する著作物でなければ郷土資料として扱わない。ただし、特に必要と認める場合はこの限りでない。

ウ 徳島で発行されたもの

(ア) 新聞

(イ) 雑誌

(ウ) 徳島市に関する資料

エ 準郷土資料

(ア) 淡路に関するもの（江戸時代）

(イ) 徳島に深い影響を与えた者の記録

(ウ) 行政、経済、教育、文化等で、徳島に密接に関係あるもの

児童書

児童を対象として出版された図書については、児童が読書の楽しみを発見し、豊かな読書習慣を培い、教養、学習、レクリエーションに役立つ図書を幅広く収集する。

パンフレット類

郷土に関するものは必要に応じて収集する。

逐次刊行物

ア 雑誌

(ア) 一般雑誌

市販されているもののうち幅広く収集する。高度の専門誌及び利用頻度の低い特殊誌は除く。

(イ) 児童向雑誌

児童図書と同じ見地から収集する。

イ 新聞

地元紙、主要全国紙を中心に児童向けも含めて収集する。

ウ 年鑑、年報

参考図書、郷土資料と同様の見地で収集する。

マイクロ資料

徳島新聞をマイクロフィルム化する。

複本

複本については3～5冊を基本とし、利用・予約状況を考慮して決める。

4 資料選定基準

内容、著者と出版者、形態、書誌等について十分検討する。（詳細は、別添「資料種別の選定基準」を参照）

5 選択方法

現品による選書

ア 書店等の持込による見計らい

イ 郵送による見計らい

現品によらない選書

ア 週刊新刊案内

イ 利用者からのリクエスト図書

ウ 新聞・雑誌の書評

エ 各種書誌目録

オ 各種選定図書目録

カ 出版関係資料

資料種別の選定基準

1 一般図書

0 0 0 総記（図書館、書誌学、百科事典、叢書）

- ア 百科事典や年鑑などの参考図書は、常に最新の情報・データを提供できるように留意して収集する。
- イ 図書館や書誌学は、図書館運営にも活用できるものを収集する。
- ウ 雑著は、最近の話題を反映して収集する。
- エ 叢書・全集は、全巻数を留意して収集する。

1 0 0 哲学（哲学・心理学・倫理学・宗教）

- ア 哲学及び心理学は、基本書を中心に、古典から現代まで幅広く収集する。
- イ 宗教は、布教・宣伝や特定の宗教に偏らないようバランスを考慮し、基本書を中心に収集する。
- ウ 人生論・心霊・占い・姓名判断についての資料は、利用の多い分野に考慮し、信頼性の高いものを収集する。

2 0 0 歴史（歴史・伝記・地理・紀行）

- ア 歴史は、さまざまな学派・学説・歴史観などの違いを考慮し、それぞれの視点にたったものを収集する。
- イ 通史は、読みやすく歴史全体を網羅しているものを収集する。
- ウ 日本史・世界史は、幅広い利用を考慮し、多様なレベルのものを収集する。また、写真や図版も、各時代が理解しやすいものを多様に収集する。
- エ 各国史は、基本書を中心に網羅的に収集する。
- オ 伝記は、幅広い利用を考慮し、被伝者について信頼性の高いものを、特定の人物に偏らないように収集する。
- カ 各国の地誌・旅行案内は、利用の多さを考慮し、見やすく新しいものを収集する。
- キ 紀行文は、類似書に留意して収集する。

3 0 0 社会学（政治・法律・経済・統計・社会・教育・民俗・軍事）

- ア 社会学は、さまざまな学説・主張があることに配慮し、多様な観点に立ったものを幅広く収集する。
- イ 政治は、古典から現代まで、内容の偏りがなく収集する。また、各省の白書は、参考資料として最新のものを収集する。
- ウ 地方自治・地方行政は、必要な範囲で収集する。徳島県内のものは、郷土資料として収集する。
- エ 法律・経済は、入門書や概説書のほか、実用的なものを収集する。
- オ 社会は、各分野の基本書を収集する。また、生活・家庭・女性・高齢者・社会福祉などは、利用の多さや関心の高さを考慮し、蔵書構成に留意して収集する。
- カ 教育は、基本書・入門書を中心に、関心の高さやさまざまな主張があることを考慮して収集する。
- キ 徳島県内の各学校の校史は郷土資料として扱う。
- ク 冠婚葬祭・年中行事などについての資料は、基本書を中心に実用的なものを収集する。

ケ 民族・伝説は、必要な範囲で収集する。

コ 国防・軍事は、多様な観点に立ったものを幅広く選定し、最新の軍事情勢にも留意して収集する。

4 0 0 自然科学（数学・理学・医学）

ア 自然科学は、進展の著しい分野であることに留意して、常に新しい情報や学説を収集するよう努める。

イ 自然科学は、各分野とも入門書・概説書を中心に収集する。また、写真や図版、読み物など親しみやすいものや実用書も収集する。

ウ 各分野の事典・図鑑類は、必要に応じて収集する。

エ 医学は、利用の多さを考慮し、入門書・概説書を中心に、実用書も収集する。

オ 健康法についての資料は、利用の多さや関心の高さを考慮し、蔵書構成に留意して収集する。

5 0 0 技術（工学・工業・家政学・生活科学）

ア 技術・工学は、入門書・概説書など基本的な資料を中心に、ある程度専門的な要望にも応えられるよう収集する。

イ 機械工学・土木・建築は、進展の著しい分野であるので、常に最新の情報を提供できるよう努める。

ウ 建築は、最新の情報のみならず、古今東西の歴史にも留意して収集する。

エ 公害・環境問題は、日常生活との深いかかわりがあるので、時事性・話題性を考慮して収集する。

オ 自動車・鉄道・船舶・航空宇宙についての資料は、幅広く収集する。

カ 原子力についての資料は、さまざまな主張があることに配慮し、内容の偏りがないうように収集する。

キ コンピュータについての資料は、最新の情報を提供できるよう収集する。

ク 日曜大工・裁縫・着付け・手芸・料理・住居・インテリアについての資料は、利用の多さを考慮し実用性の高いものを積極的に収集する。

ケ 家庭医学・家庭看護・育児は、幅広く積極的に収集する。

6 0 0 産業（農林業・水産業・商業・交通）

ア 農林水産業は、基本的な資料を収集する。

イ 農業・食料問題・森林保護などについての資料は、時事性・話題性を考慮する。

ウ 園芸・ガーデニングは、実用性の高いものを収集する。

エ ペットについての資料は、実用性の高いものを収集する。

オ 商業は、基本的な資料を収集する。

カ 運輸・交通は、基本的な資料を中心に、乗り物・観光など利用の多い分野を、幅広く収集する。

キ 通信・放送は、基本的な資料を中心に、最新の情報を提供できるよう収集する。

7 0 0 芸術（美術・音楽・演劇・体育・諸芸・娯楽）

ア 芸術・スポーツは、趣味として手がける人も多い分野であることを考慮し、入門書を中心に、ある程度専門的な要望にも応えられるよう収集する。

イ 市民の趣向・流行を考慮し、新しい分野に関する情報も速やかに提供できるよう努める。

ウ 美術全集・画集・写真集は、評価の高い基本的なものを中心に選定し、個人では購入が難しい高価なものも収集するよう努める。

エ 音楽・演劇・映画は、利用の多さを考慮し、時事性・話題性のあるものを幅広く収集する。

オ スポーツ・体育は、各分野の基本書を中心に選定し、実技をはじめ見る側にたった資料も積極的に収集する。

8 0 0 言語（言語学・辞典・日本語・各国語）

ア 言語学は、さまざまな学説があることに配慮し、多様な視点にたったものを幅広く収集するよう努める。

イ 各国語の辞典類は、和 辞典・ 和 辞典を幅広く収集する。

ウ 各国語の語学書も基本書を中心に収集する。

エ 日本語の辞典類は、基本的なものを中心に収集する。

オ 手紙・挨拶・スピーチについての資料は、利用の多さを考慮し、実用性の高いものを収集する。

9 0 0 文学（文学研究・文学作品）

ア 文学は、市民の関心も高く、最も利用の多い分野であることを考慮し、豊富な資料を幅広く収集する。

イ 児童文学は、絵本論や児童文学批評も含めて収集する。

ウ 日本文学は、作家の知名度にとらわれることなく、幅広く収集する。

エ 文学賞受賞作品や話題になっている作品及び名著として長く読み継がれている作品は、積極的に収集する。

オ 現代小説・随筆は、幅広く収集する。

カ 外国文学は、利用の多い英米文学のみならず各国文学も幅広く収集する。

キ 作家研究書は、文学を代表する著者を中心に収集する。

ク ベストセラーなど利用の多いものは、複本を購入する。

ケ 全集の収録作品であっても利用の多いものは、単行本・文庫本での収集を考慮する。

2 参考資料

市民の調査研究のために必要な辞典・事典・年鑑・白書・名鑑・目録・書誌・地図などを幅広く収集する。また、常に最新の情報・データを提供できるように留意する。

現存の年次刊行資料は、その継続性に留意して収集する。

利用の多い辞典・事典などは、積極的に収集する。

年鑑は、基本的なものを中心に収集する。なお、会社・人事関係の統計・年鑑などは、信頼性のあるものを選定し、各館との調整のうえ収集する。

白書などの統計資料は、基本的なものを収集する。なお、各省の白書は、すべて収集する。

日本及び世界地図は、基本的なものを中心に収集する。

各分野の六法は、利用の多い六法ものを選定し、更新しながら収集する。

その他の参考資料は、レファレンス経験を生かして選定し、収集に努める。

3 地域資料・郷土資料

市民の調査・研究・教養・生活情報その他に資するため、また、徳島市の歴史を後世に伝えるため市に関する多様な資料を、積極的に収集する。

選定の対象は、空間的には現在の市域のみならず、徳島県内の全域を含み、時間的には、原始以来現在までのすべてとするが、市との関連性を有するものを中心に収集する。

徳島市についてや、徳島市内の機関や団体及び個人についての資料は、積極的に収集する。

徳島市内の機関や団体が作成・刊行したものは、幅広く収集する。

行政資料は、徳島市を中心に収集する。

4 児童資料

子どもの豊かな成長を育むため、創造性や想像力に富んだものを収集する。

子どものさまざまな趣味や知識欲に対応できるよう、幅広く収集する。

ブックリストや書評誌を参考にして、評価の定まったものについては、積極的に収集する。また、評価の定まった作家の作品についても幅広く収集する。

利用の多いもの、調べものに利用できるものについては、複数の収集も考慮する。児童資料の分野別は、以下の基準による。

ア 絵本

- ・ 絵と文が一体になっており、ストーリーに起承転結があるもの、美しい言葉で表現されているものを選ぶ。
- ・ 多くの人に長く読み継がれてきたものは積極的に選ぶ。
- ・ 装丁・造本がしっかりしたものを選ぶ。

イ 物語

- ・ テーマやストーリーが独創的で、子どもの共感を呼ぶものを選ぶ。
- ・ 子どもの視野を広げ、その成長に役立つよう、評価の定まったものは幅広く選ぶ。
- ・ 子どもに人気のある作品や、ブックリストに取り上げられたものは、積極的に選ぶ。
- ・ さし絵などに留意し、子どもの世界を広げ、想像力をふくらませるものを選ぶ。

ウ 昔話

- ・ 読み聞かせにも向き、初めてであう本としても適しているものを積極的に選ぶ。
- ・ 昔話の特長が損なわれたり、書きかえられたりしていないものを選ぶ。
- ・ さし絵がストーリーやその雰囲気をよく表しているものを選ぶ。

エ 伝記

- ・ 被伝者について、史実に忠実に、また、その人間性についても描かれているものを選ぶ。

オ 紙芝居

- ・ 絵が美しく、はっきりと描かれているものを選ぶ。
- ・ 絵と文が調和の取れているものを選ぶ。

カ 実用書その他

- ・ 子どもの知的好奇心を満たし、物事への興味や関心を深めるものを選ぶ。
- ・ 事実がきちんと正確に、科学的にわかりやすく書かれているものを選ぶ。
- ・ 国際理解を深めるために、海外の生活・文化をていねいに紹介しているものを選ぶ。

- ・ 子供たちが創作や制作への意欲を高めながら、楽しみ、遊べるような実用性の高いものは、積極的に選ぶ。
- ・ 料理・乗り物・クイズ・ゲームなどの利用の多いものは、子どもの趣向や流行に留意して幅広く選ぶ。

5 AV（オーディオ・ビジュアル）資料

市民が情報・知識・楽しみを得られるよう、CD など録音資料を収集する。

録音資料は、文学作品・語学・落語など、趣味や実用に役立つものを、幅広く収集する。

ビデオ・DVD資料は、情報・知識・楽しみを中心に、幅広く収集する。

6 雑誌

市民の要望も高く、また、最新の情報を得られるという特性をふまえ、各分野の主要な雑誌を収集するよう努める。

各分野の収集もれがないよう、信頼性のあるものを選定し、バランスよく収集する。

タイトル数の増大に努める。

地域誌・ミニコミ誌・寄贈誌も、収集に留意する。

7 新聞

ア 新聞は、主要な日刊紙を収集する。

イ 縮刷版は、保存に努めるほか、収集の欠本補充にも留意する。